

日医認定健康スポーツ医再研修会のお知らせ

(1) 沖縄県医師会災害医療研修会

日 時：平成29年9月21日（木） 19：00～21：00

場 所：沖縄県医師会館 3階ホール

単位数：2単位

内 容：「マス・ギャザリング・メディシン-NAHAマラソンを参考に-」

講師 沖縄赤十字病院 救急部長 佐々木秀章 先生

申込方法：本会報P.109の申込書に記入いただき、FAXにてお申し込みください。

(2) 女性アスリート診療のための講習会

日 時：平成29年10月29日（日） 12：00～15：30

場 所：沖縄県医師会館 3階ホール

単位数：3単位

参加費：3,000円（当日徴集致します）

内 容：①「女性アスリートにみられる疾病と治療」

講師 南生田レディースクリニック 院長 石川雅一 先生

②「女性アスリートへの栄養指導」

講師 日本スポーツ栄養学会 小清水孝子 先生

③「アンチ・ドーピングの基礎知識」

講師 国立スポーツ科学メディカルセンター 薬剤師 上東悦子 先生

申込方法：沖縄県医師会ホームページ「健康スポーツ医」のページ
（http://www.okinawa.med.or.jp/html/sagyo_gakujutu/sportsi/sportsi.html）

より、申込書をダウンロードし、FAXにてお申し込みください。

申込締切：平成29年10月14日（土）

専門医共通講習開催のお知らせ

- 沖縄県医師会災害医療研修会
- 日 時：平成29年9月21日（木）19：00～21：00
- 場 所：沖縄県医師会館（3Fホール）
- 定 員：60名（定員に達し次第、締め切りとなります）
- 申込方法：本会報P.109の申込書に記入いただき、FAXにてお申し込みください。

【専門医共通講習-③医療安全（必須）：2単位】

「マス・ギャザリング・メディシン-NAHAマラソンを参考に-」

沖縄赤十字病院 救急部長 佐々木 秀章 先生

講演会・例会のご案内

(9月10日～11月9日)

開催日	場所	講演会名称等	講師	CC	問合せ先
9/12 (火) 19:00	沖縄県医師会館	梅毒診療及びHIV感染症診断研修会 (日医師生涯教育講座) ①梅毒の診療について(1.0単位) ②HIV感染症の診断について(1.0単位)	①山本 雄一(琉球大学医学部皮膚科講師) ②豊川 貴生(沖縄県立南部医療センター・こども医療センター内科医長)	①26)発疹 ②25)リンパ節腫脹 28)発熱	沖縄県地域保健課 仁平 稔 098-866-2215 参加費 なし
9/12 (火) 19:00	沖縄県医師会館	沖縄腎フォーラム定例会 (日医師生涯教育講座) ①文献紹介・抄読会(1.0単位) ②症例検討会(1.0単位)	未定	①1)医師のプロフェッショナルリズム 9)医療情報 ②15)臨床問題解決のプロセス 73)慢性疾患・複合疾患の管理	吉クリニック 松原 隆 098-851-3077 参加費 なし
9/14 (木) 19:30	沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハ	Diabetes & Incretin Seminar in 沖縄 (日医師生涯教育講座) Weekly GLP-1受容体作動薬の有用性:実臨床成績から(1.0単位)	村上 雅子(日本赤十字社静岡赤十字病院 糖尿病・内分泌代謝科 部長)	73)慢性疾患・複合疾患の管理 76)糖尿病	大日本住友製薬(株) 鎌田 良徳 098-863-9770 参加費 なし
9/19 (火) 19:00	P's SQUARA	中部医師会西原班学術講演会 (日医師生涯教育講座) 肺高血圧症(1.0単位)	池宮城 秀一(琉球大学医学部附属病院第三内科助教)	43)動悸 45)呼吸困難	バイエル薬品(株) 山田 正仁 0120-077-552 参加費 なし
9/21 (木) 19:00	沖縄県医師会館	沖縄県医師会災害医療研修会 (日医師生涯教育講座) 【専門医共通講習-③医療安全(必須)】 マス・ギャザリング・メディスン-NAHAMARASONを参考に-(2.0単位)	佐々木 秀章(沖縄赤十字病院救急部長)	7)医療の質と安全 14)災害医療	沖縄県医師会 崎原 靖 098-888-0087 参加費 なし
9/21 (木) 19:00	ナハテラス	機能性消化管疾患を考える会 (日医師生涯教育講座) ①沖縄に適したFD診療を考える(0.5単位) ②機能性消化管疾患治療薬の使い分け(0.5単位) ③どこまで便秘と戦っていますか?(1.0単位)	①平田 哲生(琉球大学医学部附属病院診療情報管理センター特命教授) ②松嶋 顕介(まつしまクリニック) ③春間 賢(川崎医科大学総合医療センター総合内科学2特命教授)	①52)胸やけ ②52)胸やけ ③54)便通異常(下痢、便秘)	アステラス製薬(株) 稲垣 裕介 098-860-6753 参加費 なし
10/10 (火) 19:00	沖縄県医師会館	沖縄腎フォーラム定例会 (日医師生涯教育講座) ①文献紹介・抄読会(1.0単位) ②症例検討会(1.0単位)	未定	①9)医療情報 15)臨床問題解決のプロセス ②15)臨床問題解決のプロセス 73)慢性疾患・複合疾患の管理	吉クリニック 松原 隆 098-851-3077 参加費 なし
11/2 (木) 20:00	沖縄県医師会館	第42回沖縄リウマチ・膠原病懇話会 (日医師生涯教育講座) 医療連携による関節リウマチ、骨粗鬆症の治療(1.0単位)	伊藤 聡(新潟県立リウマチセンター副院長)	12)地域医療 77)骨粗鬆症	旭化成ファーマ(株) 古謝 亜由子 098-869-9540 参加費 500円

※最新の情報はホームページで逐次更新していますので、ご確認ください。

※お願い: 11月10日～1月9日迄の講演会例会等が決まれば、9月25日迄に業務1課(098-888-0087)へご一報下さい。

平成 29 年度 産業医研修会案内

平成29年度みだし研修会を別紙要領により開催することに致しましたので、ご案内申し上げます。

つきましては、研修会への受講を希望する場合には、別紙開催日程をご確認の上、下記により FAX(098-888-0089)でお申し込み下さい。

研修会参加申込票

参加希望の研修番号に○印を付けてください。

申込み研修番号	A・ B・ C・ D・ E・ F・ G・ H
参加申込者	氏名：
	氏名：
	氏名：
	氏名：
施設名	
TEL	
認定区分	認定医 ・ 未認定医

※申込後にキャンセルする場合は、お早めにご連絡くださいますようお願い申し上げます。特に実地研修については、定員に達した場合、キャンセル待ちが発生することもございますのでご協力のほどお願い致します。

※平成 30 年 4 月 1 日より、産業医研修会実施計画は「沖縄県医師会報」ならびに「沖縄県医師会ホームページ」にてお知らせします。

沖縄県医師会事務局 業務 1 課 與儀
(TEL.098-888-0087 FAX.098-888-0089)

平成29年度沖縄県医師会産業医研修会実施計画

※単位制の研修につき、時間厳守をお願いします。遅刻や途中退室は単位認定ができませんのでご注意ください。

申込み 研修番号	研修会名	日 時	場 所	カリキュラム (付与単位数)	講師名
終了	基礎研修 (前期のみ) (未認定医対象)	4月20日(木) 開始18:30 終了22:30	沖縄県医師会館 (2階会議室1)	(1) 産業医活動の実際(2単位) 「産業医活動の面白み」 (2) 作業管理(2単位) 「作業管理の考え方とその実例」	(1) 伊志嶺 隆 先生 (2) 清水 隆裕 先生
終了	基礎研修 (前期のみ) (未認定医対象)	5月25日(木) 開始18:30 終了22:30	沖縄県医師会館 (2階会議室1)	(1) 有害業務管理(2単位) 「有害業務管理による健康障害を防止するために～基礎から最近のトピックスまでを俯瞰する～」 (2) 健康保持増進(2単位) 「特定健診、特定保健指導、労災二次健診」	(1) 青木 一雄 先生 (2) 清水 隆裕 先生
終了	基礎(後期) 生涯(専門)	6月15日(木) 開始18:30 終了22:30	沖縄県医師会館 (3階ホール)	(1) 作業管理(2単位) 「人間工学的視野に立った作業管理や安全対策を考える」 (2) メンタルヘルス対策(2単位) 「産業医に必要なメンタルヘルスの知識と最近の話題」	(1) 伊志嶺 隆 先生 (2) 仁井田りち 先生
終了	基礎(後期) 生涯 (専門・更新)	7月8日(土) 開始18:30 終了22:30	沖縄県医師会館 (3階ホール)	(1) 労働衛生管理体制(総括管理)(2単位) 「健康で快適な職場環境を形成するための労働衛生管理体制の構築に向けて」 (2) 労働衛生関係法規と関係通達の改正(2単位)	(1) 青木 一雄 先生 (2) 加藤 浩司 先生
終了	基礎(実地) 生涯(実地) 【定員60名】	7月27日(木) 開始18:30 終了21:30	沖縄県医師会館 (3階ホール)	(1) メンタルヘルス対策(3単位) 「ストレスチェック後の医師の面接指導」	(1) 山本 和儀 先生
終了	基礎(後期) 生涯(専門)	8月10日(木) 開始18:30 終了22:30	沖縄県医師会館 (3階ホール)	(1) 健康管理(2単位) 「職場における健康診断の意義とその活用法」 (2) 労働衛生教育(2単位) 「アルコール対策の実際」	(1) 青木 一雄 先生 (2) 清水 隆裕 先生
G	基礎(後期) 生涯 (専門・更新)	10月19日(木) 開始18:30 終了22:30	沖縄県医師会館 (3階ホール)	(1) 有害業務管理(2単位) 「職場における化学物質による健康障害の防止のために～化学物質のリスクアセスメント～」 (2) 労働衛生関係法規と関係通達の改正(2単位)	(1) 青木 一雄 先生 (2) 加藤 浩司 先生
H	基礎(実地) 生涯(実地)	11月18日(土) 開始18:30 終了21:30	沖縄県医師会館 (3階ホール)	(1) 健康保持増進(3単位) 「新しい保健指導 動機付け面接」	(1) 清水 隆裕 先生

※申込後にキャンセルする場合は、お早めにご連絡くださいますようお願い申し上げます。特に実地研修については、定員に達した場合、キャンセル待ちが発生することもございますのでご協力のほどお願いいたします。

※平成30年4月1日より、産業医研修会実施計画は「沖縄県医師会報」ならびに「沖縄県医師会ホームページ(http://www.okinawa.med.or.jp/html/sagyo_gakujutu/sangyoi/sangyoi.html)」にてお知らせします。

参考 沖縄県医師会 産業医研修会年度別開催スケジュール（平成25年～平成29年度）

研修名称		研修内容	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
I 基礎 研修	前期研修 (未認定医14単位以上)	(1) 総論(2単位)		4/17		4/28	
		(2) 健康管理(2単位)		4/17		4/28	
		(3) メンタルヘルス対策(1単位)		6/19		6/16	
		(4) 健康保持増進(1単位)	6/6		4/16		5/25
		(5) 作業環境管理(2単位)		6/19		6/16	
		(6) 作業管理(2単位)	4/19		4/16		4/20
		(7) 有害業務管理(2単位)	6/6		6/18		5/25
		(8) 産業医活動の実際(2単位)	4/19		6/18		4/20
		(9) その他					
I II 基 生 涯 研 修 修	後期研修 (未認定医26単位以上)	(1) 労働衛生関係法規と関係通達の改正	11/17	10/30	5/21	5/19、10/15	7/8、10/19
		(2) その他	5/16	5/15	7/16		
	更新研修 (認定医1単位以上)						
I II 基 生 涯 研 修 修	実地研修 (未認定医10単位以上) (認定医1単位以上)	(1) 健康管理			6/20		
		(2) じん肺の胸部エックス線検査					
		(3) メンタルヘルス対策	12/12	11/13	11/12	6/4	7/27
		(4) 健康保持増進	8/10				11/18
		(5) 救急処置				11/17	
		(6) 作業環境管理・作業管理		8/23			
		(7) 職場巡視と討論	8/10				
		(8) その他			7/12		
I II 基 生 涯 研 修 修	後期研修 (未認定医26単位以上) 専門研修 (認定医1単位以上)	(1) 総論	11/17	5/15		5/19	
		(2) 労働衛生管理体制(総括管理)	5/16		5/21、7/12		7/8
		(3) 健康管理	9/13	7/17	8/20	7/14	8/10
		(4) メンタルヘルス対策	11/17	9/13	10/8	8/25	6/15
		(5) 健康保持増進	9/13	7/17		7/14	
		(6) 作業環境管理	12/6	10/30		10/15	
		(7) 作業管理	11/17		7/16		6/15
		(8) 有害業務管理	12/14		11/26		10/19
		(9) 労働衛生教育	12/14		8/20		8/10
		(10) その他	12/6	9/13		8/25	
		研修会開催回数	9回	8回	10回	8回	8回

【未認定医】

- ・新規認定の為に基礎研修（前期研修14単位以上・実地研修10単位以上・後期研修26単位以上）合計で50単位以上の修得が必要です。
- ・未認定医は「2年程度」で産業医の認定資格が得られます。

【認定医】

- ・認定産業医の更新には、認定証取得後（有効期限内5年間）に生涯研修（更新研修1単位以上、実地研修1単位以上、専門研修1単位以上）20単位以上の修得が必要です。
- ・認定医は1年間では単位取得が可能です。

平成29年度 産業保健研修会予定表

沖縄産業保健総合支援センターでは、事業場の産業保健スタッフ等に対して産業保健に関する基礎的又は専門的・実践的な研修会を開催いたします。

参加ご希望の方は申込書に記載の上このままFAX(098-859-6176)にてお申し込み下さい。

「ホームページ」にも研修会の案内を掲載しておりますので、ご利用下さい。(http://www.sanpo47.jp)

※なお、「定員」に達した場合は受付を終了させていただくことがありますので、ご了承ください。

〒901-0152 沖縄県那覇市宇小禄1831-1

沖縄産業支援センター 2階

独立行政法人 労働者健康安全機構

沖縄産業保健総合支援センター

本研修会は無料です。

※キャンセルの場合は御連絡下さい。

TEL098-859-6175

FAX098-859-6176

●産業医研修 (生涯研修2単位:「産業医研修手帳」をご持参ください。)

【研修場所 沖縄産業支援センター3階会議室】

研修会番号	日時	研修テーマ	内容	講師	研修会場
30	10月5日(木) 18:30~20:30	ストレスチェック・メンタルヘルスに関する Q&A(生涯実地)	あらかじめいただいた質問に対し、グループ討議を行う。また、産業医としてメンタルヘルス対策にどう関わっていくか考えてみたい。	伊志嶺 隆 (産業医学)	303室
31	10月18日 (水) 18:30~20:30	ストレスチェックの面接指導とその後の対応、精神科医療機関との連携の方法と課題 (生涯専門)	ストレスチェック後の面接指導とその後の対応について、事業者、管理職、産業保健スタッフ、心の健康づくりスタッフとの連携及び地域の精神科医療機関との連携について具体的な方法や課題を学んでいただきます。	山本 和儀 (メンタルヘルス)	303室
32	11月2日(木) 18:30~20:30	治療と職業生活の両立支援 (生涯更新)	2人に1人は罹患すると言われる「がん」ですが、医療の発展に伴い働きながら治療できる時代になってきました。健康経営の視点からも、治療と仕事の両立支援に取り組んでいきましょう。	西里 えり奈 (両立支援促進員)	305室
33	11月10日 (金) 18:30~20:30	産業医あるある？現場で困った！を共有しよう (生涯実地)	各職場には特色があったり、独特の法律に支配されたりしていることがあり、そうとは認識せず産業医を引き受けてしまい、困ったことになったという先生もいるかもしれません。そういった困った事例、特殊な事例を討議形式で共有してみたい。	清水 隆裕 (産業医学)	303室
34	11月17日 (金) 18:30~20:30	作業環境管理と作業環境測定器の使い方(生涯実地)	有害な業務を行う屋内作業場等での測定が義務付けられている作業環境測定の概要を説明し、また「デジタル粉じん計」や「検知管」等の測定機器の説明を行う。	狩俣 栄作 (衛生工学専門員)	303室
35	11月30日 (木)18:30~20:30	諸種の指標から見た県内労働者の生活習慣 (生涯専門)	いわゆる健康診断の「有所見率」全国ワースト1の実情を踏まえ、マスコミ等から得られる資料を中心に県内労働者の生活習慣について考える。	伊波 恒雄 (産業医学)	303室
36	12月13日 (水)18:30~20:30	過重労働対策と健康管理(生涯専門)	職場の健康管理において、過重労働対策は重要な位置付けとなっている。今回過重労働に関連した健康被害とその対策についてまとめる。	崎間 敦 (産業医学)	303室
37	12月14日 (木)18:30~20:30	産業医のための労働衛生法令①(生涯更新)	職場の健康診断とその事後措置について、関係する労働衛生法令を詳しく説明します。	知花 光雄 (労働関係法令)	303室
38	平成30年 1月17日(水) 18:30~20:30	産業医学メンタルヘルス・ストレスチェック事例検討会(2)(生涯実地)	ストレスチェック及びメンタルヘルス対策に関し、産業医、精神科医が事例を提示し、対応の良かった点、課題などについて検討し、実践的な問題解決法を学んでいただきます。	山本 和儀 (メンタルヘルス)	303室
39	1月18日(木) 18:30~20:30	産業医のための労働衛生法令②(生涯更新)	産業医を中心とした産業保健スタッフ等による職場巡視、安全衛生委員会の活動等について詳しく説明します。	知花 光雄 (労働関係法令)	303室
40	2月21日(水) 18:30~20:30	職場の両立支援を円滑に進めるために(生涯更新)	仕事と介護、仕事と子育て、病気の治療を継続しながらの職業生活など、職場の両立支援が進められてきている。今回、これらの職場の両立支援についてまとめる。	崎間 敦 (産業医学)	303室

申込書

※キャンセルの場合は必ず御連絡下さい。

FAX 098-859-6176

開催場所	沖縄産業支援センター 3階会議室		
フリガナ(必須)氏名	研修会番号	30, 31, 32, 33 34, 35, 36, 37 38, 39, 40	
所属機関(事業場名)	所属部署		
職種	1. 産業医 2. 産業看護職(保健師・看護師) 3. 衛生管理者 4. 人事・労務・安全衛生担当者 5. 事業主 6. 労働者 7. その他()		
電話番号	FAX		

※申込みの際に記入いただいた個人情報は、本研修会における参加名簿作成のために使用するほか、当センターが行う研修・セミナー等の御案内に使用させていただくことがあります。また、「かわら版」の研修予定以外に研修を開催することがございますのでホームページをご覧ください。

嘱託産業医活動情報書

沖縄県医師会では、事業場からの産業医紹介依頼に対応するため、産業医としての契約を希望されている先生方の情報を取りまとめたいと考えております。ご協力いただける方は下記事項に記入いただき提出をお願い致します。
 ※事業場との契約内容(報酬等)については、事業主と産業医の相談により決定となります。

申込み日 平成 年 月 日 ()

産業医氏名		診療科目	
医療機関名			
住 所			
電話番号		FAX	
メールアドレス			

嘱託産業医を受託する際のご希望をお聞かせ下さい。

項 目	ご 希 望 条 件
実施可能件数	1件 ・ 2件 ・ 3件 ・ 4件 ・ 5件以上
事業所規模	従業員数 ①50人～99人 ②100人～149人 ③150人以上
業種について	①建設業 ②製造業 ③運送業 ④サービス業 ⑤IT業 ⑥その他 ()
病院から事業所までの所要時間 (片道)	①30分程度 ②45分程度 ③1時間程度 ④時間は気にしない
事業所への訪問、実施曜日 (事業所訪問は基本月1回)	①企業の都合に合わせる ②双方相談のうえ調整
()に第何週か記入下さい	①第 () 水曜日 ②第 () 木曜日 ③第 () 土曜日
ストレスチェックの 実施者 になることについて	① 承諾する ②承諾しない ③要相談
ストレスチェックの 共同実施者 になることについて	① 承諾する ②承諾しない ③要相談
ストレスチェック後の高ストレス者に対する面接指導について	① 実施可能 ②実施不可 ③要相談
地区医師会との情報共有	① 許可する ②許可しない

メモ欄

連絡先
 沖縄県医師会 業務1課(與儀)
 TEL:098-888-0087
 FAX:098-888-0089

災害医療研修会のご案内

平成 29 年度災害医療研修プログラム開催のお知らせ

沖縄県医師会では、東日本大震災や熊本地震の教訓を活かし、次の大規模災害に備えた態勢の整備として、平成 26 年度より独自に災害医療研修プログラムを実施しております。

今年度の開催プログラムが決定いたしましたのでお知らせします。

各コースへの受講申込は、下記により FAX (098-888-0089) にてお申し込み下さい。

	日時	プログラム	研修形態
終了	5 月 13 日 (土) 14:00~18:00	【1】衛星電話に特化した通信手段 【2】EMIS 入力演習	講義、演習
終了	7 月 13 日 (木) 19:30~21:00	災害支援ナースの役割と活動 (仮称)	講義
3	9 月 21 日 (木) 19:00~21:00	マス・ギャザリング・メディスン -スポーツ大会における医療救護体制の事例-	講義、図上
4	9 月 30 日 (土) 09:00~16:30	PFA (心理的応急処置)	講義、演習 定員 50 名
5	2 月 15 日 (木) 19:30~21:00	地域医療本部における受援のあり方	講義、図上

※ 研修コースは全て沖縄県医師会館 (3F ホール) で開催予定です。

※ PFA (psychological First Aid) とは、災害支援に関わる全てのスタッフが習得しておくべき、心理的支援スキルとのことで、当コースは WHO が作成し、国内では国立精神・神経医療研究センターが実施しているコースです。主に都道府県や災害医療関係団体で開催されております。

----- 参加申込票 -----

■FAX.098-888-0089 参加希望の研修番号に○印を付け、お申込みください。

申込番号	1 ——— 2 ——— . 3 . 4 . 5
施設名	
氏名	医師・看護師・業務調整員・その他

沖縄県医師会事務局 業務 1 課 崎原
TEL: 098-888-0087 FAX: 098-888-0089

～ICLS コース開催のお知らせ～

ICLS(Immediate Cardiac Life Support)コースとは、最新の心肺蘇生ガイドラインに基づいた二次救命処置について学ぶ日本救急医学会認定のトレーニングコースです。成人の心肺停止に的をしぼり、最初の10分間に行うチーム医療を、シミュレーション実習を通して学びます。今年度、開催期日が決定しましたのでお知らせします。

名称	時間	実施場所
第57回 新おきなわICLSコース	11月26日(日) 9:00～18:00	名桜大学
第58回 新おきなわICLSコース	1月28日(日) 9:00～18:00	名桜大学
第59回 新おきなわICLSコース	3月4日(日) 9:00～18:00	おきなわクリニカル シミュレーションセンター
<p>✚ 各コースとも受講料(昼食代込、テキスト代別)は、医師・歯科医師8,000円、コメディカル6,000円を予定しています。</p>		
<p>✚ 各コースとも募集は2ヶ月前に以下リンク先に掲載されますので、お申込み下さい。</p> <p>✚ 沖縄県医師会 http://www.okinawa.med.or.jp/html/kyukyu/kyukyu/kyukyu.html</p> <p>✚ おきなわクリニカルシミュレーションセンター http://okinawa-clinical-sim.org/course.html</p>		
<p>✚ 受講選考については、これまで通り申し込み順ではなく、施設間のバランスやインストラクターの参加状況を踏まえ、決定することになりますので、ご了承ください。</p>		
<p>・問い合わせ先: trees@me.au-hikari.ne.jp (沖縄ERサポート 林 峰栄)</p> <p>・問い合わせ先: 沖縄県医師会事務局 業務1課(崎原)</p> <p>TEL. 098-888-0087 FAX. 098-888-0089</p>		

労務管理者向け勤務環境改善セミナー開催のお知らせ

ご承知のとおり、改正医療法において、医療機関の勤務環境改善が各医療機関の努力義務として位置づけられたことに伴い、沖縄県医師会（沖縄県医療勤務環境改善支援センター）では、平成 27 年度よりみだしセミナーを開催しておりますが、今年度も引き続き、職場環境改善に必要な知識の習得・啓発に向けたセミナーを下記のとおり開催いたします。

本セミナーでは、快適に働ける職場環境づくりを行なうためのポイントや具体的な進め方等をご説明するほか、終了後、医療機関からの無料相談会も実施しております。

参加ご希望の方は、各セミナー番号に○印を付け、必要事項を記載の上、FAX（098-888-0089）にて各日程の 2 週間前までにお申し込み下さい。

	日時	時間	プログラム
終了	6 月 12 日（月）	13:30 ～ 15:30	「こうして進める、取り組む医療機関の女性活躍 ～2 本立て」 ➤ ① 介護休業・休暇の制度の基本～その取り方・取らせ方 ➤ ② こうして対処する。マタハラ対応の具体例と実務
終了	7 月 10 日（月）	13:30 ～ 15:30	「宿日直適正化通達（H14.3.19）、労働時間把握新ガイドライン（H29.1.20）について学ぶ ～平成 29 年度労働行政動向の一大ポイント！新ガイドラインをもとにした指導への対応を考える」
終了	8 月 14 日（月）	13:30 ～ 15:30	「派遣先における派遣労働者管理の実務」
終了	9 月 11 日（月）	13:30 ～ 15:30	「ここがポイント、平成 29 年度の助成金をまるっと紹介」
5	10 月 16 日（月）	13:30 ～ 15:30	「医療の職場で行う改善の実践」 ～マネジメントシステムの効果的活用事例の紹介と実践手法
6	11 月 13 日（月）	13:30 ～ 15:30	「ここに注目、認証制度の取得と活用のすべて」（予定）
7	12 月 11 日（月）	13:30 ～ 15:30	「院内内託児所の整備と運用のための基礎知識」（予定）
8	1 月 15 日（月）	13:30 ～ 15:30	「募集・採用・労働条件明示の留意点」

📌 セミナー対象者は、労務管理者、または今後そうした立場になる可能性のある方、職場環境改善に関わる方などを含みます。申込が複数いる場合はコピーをご利用下さい。

📌 セミナー開催場所は、沖縄県医師会館（南風原町字新川 218-9）で開催いたします。

----- 参加申込票 -----

参加希望の研修番号に○印を付けてください。

申込番号	1	2	3	4	5	6	7	8
施設名								
職氏名								

沖縄県医師会事務局
 沖縄県医療勤務環境改善支援センター 崎原
 TEL: 098-888-0087 FAX: 098-888-0089

沖縄県医療勤務環境改善支援センター ニュースレター

平成 29 年 7 月 7 日 発行 第 49 号

沖縄県医師会(沖縄県医療勤務環境改善支援センター)
〒901-1105, 南風原町字新川 218-9
TEL.098-888-0087 / FAX.098-888-0089
mailto:g1@ml.okinawa.med.or.jp

★労務管理トピック

今年度から新設された「人事評価改善等助成金」

医療労務管理アドバイザー(社会保険労務士) 前里 久誌

◆働き方改革の施策の 1 つ

今年度(平成 29 年 4 月 1 日)から新設された雇用関係助成金の 1 つに「人事評価改善等助成金」があります。本助成金は、生産性向上に資する人事評価制度と賃金制度を整備することを通じて、生産性の向上、賃金アップおよび離職率の低下を図る事業主に対して助成されるものであり、人材不足を解消することを目的として創設されました。

◆支給額、支給要件は？

支給額が最大 130 万円(制度整備助成：50 万円+目標達成助成：80 万円)と大きいこともあり、申請件数も増えているようです。支給要件は以下の通りとなっています。

【制度整備助成：50 万円】

- (1) 人事評価制度等整備計画を作成し、労働局長の認定を受けること
- (2) 認定された人事評価制度等整備計画に基づき、整備し実施すること

【目標達成助成：80 万円】

- (1) 「制度整備助成」の措置を実施すること
- (2) 「生産性要件」を満たしていること
- (3) 離職率を目標値以上に低下させること
- (4) 毎月決まって支払われる賃金を 2%以上増加させること

手続きの流れ等、詳細については下記 URL をご覧ください。

人事評価改善等助成金 <http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000158133.html>

★Q&A

医療労務管理アドバイザー(社会保険労務士) 善平 克恵

Q: 労働時間規制に関する動きがありますが、「労働時間とは何か」という概念整理も変わるのでしょうか？

A. 平成 29 年 1 月 20 日に「労働時間の適正な把握のために使用者が講ずべき措置に関するガイドライン」を厚生労働省が策定しました。

新しいガイドラインでは「労働時間の考え方」が、「労働時間に該当するか否かは、労働契約、就業規則、労働協約等の定めいかんによらず、労働者の行為が使用者の指揮命令下におかれたものと評価することができるか否かにより客観的に定まるものであること」と示されています。また、「客観的にみて使用者の指揮命令下におかれていると評価されるかどうかは、労働者の行為が使用者から義務付けられ、又はこれを余儀なくされていた等の状況の有無等から、個別具体的に判断されるものであること」と示されています。

労働時間の概念が機械的に定められるものではなく、個別具体的に判断されることとなります。

※沖縄県医療勤務環境改善支援センターでは 7 月 10 日(月)午後 1 時 30 分より、過重労働緊急対策で示された「労働時間把握新ガイドライン(H29.1.20)による労働時間の適正把握の徹底」について、沖縄労働局の担当官をお招きし、最新の情報をもとに医療機関、医療従事者にとってどのような影響があるか、どのような対策が求められるかについて、全国的な背景も交えて解説いただきます。

沖縄県医療勤務環境改善支援センター ニュースレター

平成 29 年 7 月 21 日発行 第 50 号

沖縄県医師会(沖縄県医療勤務環境改善支援センター)
〒901-1105 南風原町字新川 218-9
TEL.098-888-0087 / FAX.098-888-0089
mailto:g1@ml.okinawa.med.or.jp

★ 労務管理トピック



医療労務管理アドバイザー
社会保険労務士 名城 志奈

平成 29 年 7 月よりマイナンバー制度による情報連携が開始されます

今月 18 日から、社会保障・税・災害対策の3分野にわたり、マイナンバーを用いた申請等において情報連携(試行運用)が開始されます。例えば、児童手当、保育所の入所、介護保険など、1800以上の事務手続が対象となっていますが、情報連携の開始のタイミングはそれぞれの事務によって異なります。また、マイナポータル[※]の試行運用もスタートしました。希望者に配布するマイナンバーカードを、PCにカードリーダーをつないでログインすれば、国の行政機関や自治体などが保有する情報、やりとりされた履歴の確認のほか、一人ひとり向けのお知らせ機能を利用できます。

今後はマイナポータルと国税電子申告・納税システム(e-Tax)、民間送達サービス(MyPost)の間で認証連携することで、マイナポータルからe-Taxへのログインや、マイナポータルのお知らせ機能で民間送達サービスに届いた資料を確認できます。いよいよマイナンバーによるワンストップサービスがスタートですね。

★Q&A 「試用期間満了時の本採用及び本採用拒否」について



医療労務管理アドバイザー
(特定社会保険労務士)金城 由紀子

Q 新規採用の従業員を6月末の試用期間満了により本採用としたが、試用期間の労働契約と本採用後の労働契約に違いがありますか。また、試用期間満了時の本採用拒否はどのような場合に可能ですか。

A 試用期間とは、入社日から一定期間(大多数が1~6ヵ月程度で設定)を「試みの期間」を設け、その間、労働者に業務を遂行させながら従業員としての適格性を実験観察し、その結果、問題が無いと判断された労働者をあらかじめ正社員として本採用する制度です。

試用期間中の労働契約(使用契約)については、通常は、本採用後の労働契約と同一の契約であるものの、一般的に、この契約には、試用期間中に従業員として不適格であると使用者が判断した場合には解約できる旨の特約が留保されているとする考え方が判例上確立しています。

このような考え方に立つと、試用期間満了時の本採用拒否は、既に成立している本採用後と同一の労働契約を解約することを意味することになり、これは使用者による従業員の「解雇」に当たります。したがって、試用期間満了時の本採用拒否についても、客観的に合理的な理由が存し、社会通念上相当として是認できるものでない場合には、権利を濫用したも[※]として無効になります(労働契約法 16 条)。

なお、試用をめぐる法律問題は、個々の事案の内容によって結論が変わり得る問題であることに注意しなければなりません。例えば、高額報酬の支払を条件に、上級の管理職として中途採用された者に対する本採用拒否の場合は、本採用拒否が客観的に合理的であり、社会通念上相当といえる場合であるか否かの判断も、新規卒卒者の場合よりも緩やかに行われるべきであるとされています。

※具体的内容については、支援センター相談窓口迄お問い合わせください。

ご存知ですか？

平成26年10月施行の改正医療法により、病院または診療所の管理者は、医療従事者の勤務環境改善等への取り組みが努力義務化されました。将来にわたり質の高い医療サービスを提供していくためには、医療従事者が健康で安心して働くことの出来る環境整備が必要です。

沖縄県医師会

医療勤務環境改善支援センター

平成27年3月2日より沖縄県医師会事務局内にみだし支援センターを開設しました。本センターには医療労務管理アドバイザー（社会保険労務士）及び医業分野アドバイザー等を配置し、医療機関の自主的な勤務環境改善に必要な支援を行います。

まずは「できるところから」始めてみましょう

相談

情報提供

助言

支援

医療勤務環境改善に関する研修会

労働時間管理（働き方・休み方等）
労働安全衛生（スタッフ健康支援）
施設環境整備（ハード・ソフト）
キャリア形成支援等

診療報酬制度面
医療制度・医療法制度面
組織マネジメント・経営管理面
各種補助メニューの活用提案

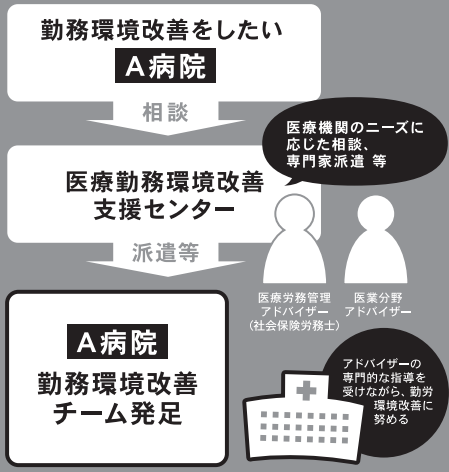
お問い合わせ

TEL:098-888-0087

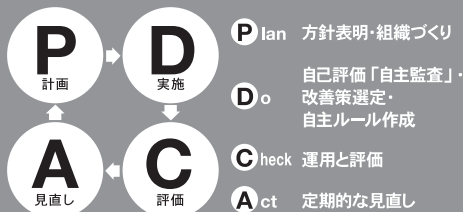
沖縄県医療勤務環境改善支援センター 〒901-1105 南風原町字新川1218-9
FAX:098-888-0089 平日9時～17時（土・日・祝祭日・年末年始除く） 沖縄県医師会事務局内

いきいき働く医療機関サポートWeb <http://iryoin-kinmukankyou.mhlw.go.jp/>

【医療勤務環境改善の手順】



PDCAサイクル



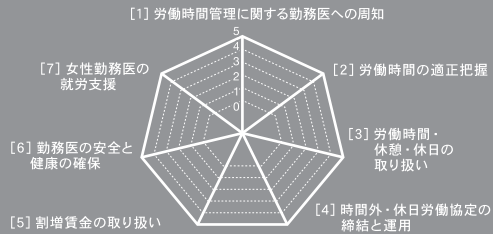
日本医師会 勤務医の健康支援に関する検討委員会
勤務医の労務管理に関する
分析・改善ツール
http://dl.med.or.jp/dl-med/kinmu/kshien_tool201403.pdf



勤務医の労務管理チェックリスト

- [1] 労働時間管理に関する勤務医への周知
- [2] 労働時間の適正把握
- [3] 労働時間・休憩・休日の取り扱い
- [4] 時間外・休日労働協定(36協定)の締結と運用
- [5] 割増賃金の取り扱い
- [6] 勤務医の安全と健康の確保
- [7] 女性勤務医の就労支援

勤務医の労務管理チェックリスト分析チャート



沖縄県医師会事務局 沖縄県医療勤務環境改善支援センター 行

お問い合わせ TEL:098-888-0087 FAX:098-888-0089

無料

沖縄県医療勤務環境改善支援センター利用申込書

記入日：平成 年 月 日

所属機関		
連絡先	TEL	内線
担当者氏名		
希望相談支援内容	医療労務管理面 ・ 医業経営面		
相談方法	電話相談 ・ 訪問相談 ・ 来所相談		
希望日	平成	年	月 日

沖縄県医師会

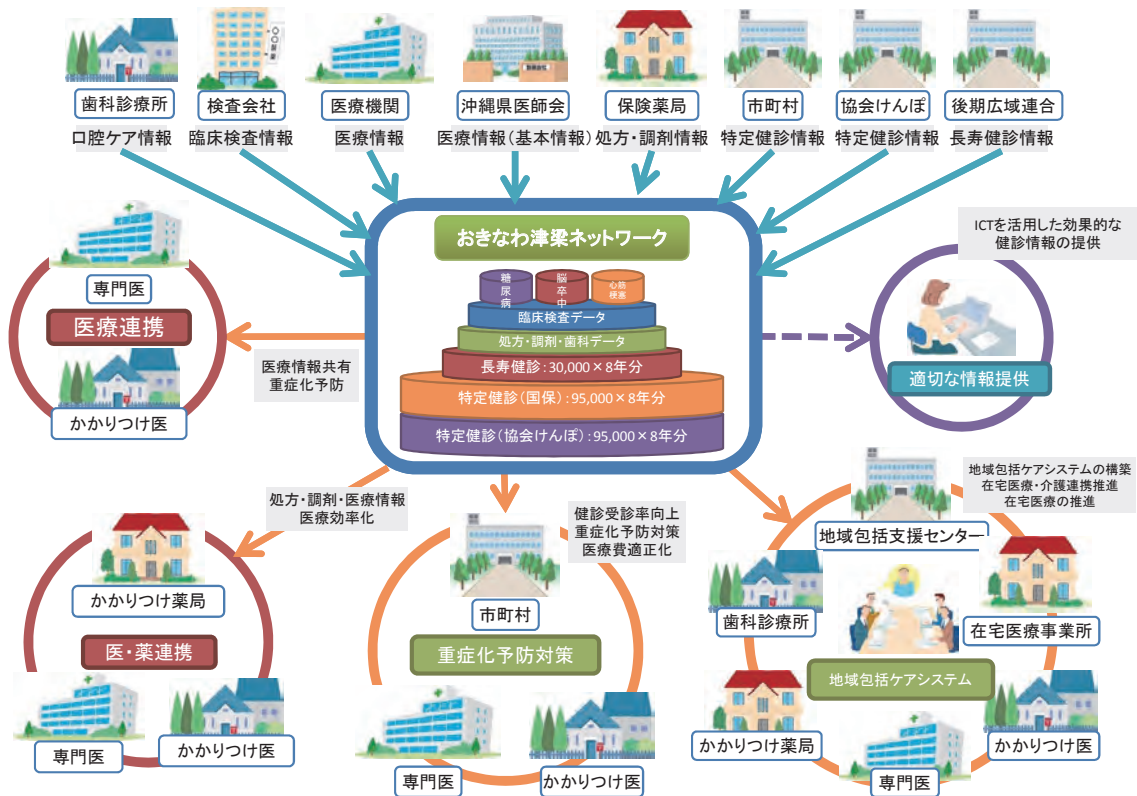


沖縄の新しい医療のカタチ！ 『おきなわ津梁ネットワーク』

セキュリティの高い特定の端末より、インターネットを介して、以下の医療情報を参照または関係機関と共有し、効果的かつ効率的な診療等に役立てるシステムです。

沖縄県医師会は、おきなわ津梁ネットワークというツールを用い、県民の健康推進・健康長寿復活を目指しております。

- 特定健診（市町村国保、協会けんぽ）や長寿健診の結果
- 各医療機関における臨床検査結果
- 糖尿病・脳卒中・急性心筋梗塞に特化した専門病院と診療所による地域医療連携パス情報
- 薬局より提供いただく処方・調剤情報
- 多職種より提供いただく患者さんの情報（在宅・介護情報等）



おきなわ津梁ネットワークに参加する医療機関のリストは、健康推進を目的に保険者と共有されます。





平成28年度診療報酬改定

診療情報提供書等の電子的な送受に関する評価

第1 基本的な考え方

現在、署名又は記名・押印が求められている診療情報提供書、訪問看護指示書及び服薬情報等提供文書とについて、電子的に署名を行い、安全性を確保した上で電子的に送受した場合にも算定可能とする。診療情報提供書への検査結果・画像情報等の添付について、電子的に送受・共有する場合についても評価する。

第2 具体的な内容

1. 医科診療報酬点数表に記載する診療等に要する文書、訪問看護管理療養費の算定に係る文書及び服薬情報等提供料の算定に係る文書の電子化

[算定要件]

(1) 電子的な方法によって、個々の患者の診療に関する情報等を他の保健色湯機関等に提供する場合は、**厚生労働省「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」(平成25年10月)を遵守し、安全な通信環境を確保する。**

おきなわ津梁ネットワークの通信環境を活用

(2) 署名又は記名・押印を要する文書については、電子的な署名を含む。その場合、**厚生労働省の定める準拠性監査基準を満たす保健医療福祉分野の公開鍵基盤 (HPKI : Healthcare Public Key Infrastructure) による電子署名を施すこと。**

日本医師会の医師資格証を活用

2. 診療情報提供料 (I) 検査・画像情報提供加算の新設

(新) 検査・画像情報提供加算

イ 退院する患者について、当該患者の退院日の属する月又はその翌月に、必要な情報を提供した場合 200点

ロ 入院中の患者以外の患者について、必要な情報を提供した場合 30点

[算定要件]

保険医療機関が、患者の紹介を行う際、過去の主要な診療記録を、他の保険医療機関に電子的方法で閲覧可能なように提供した場合に加算する。ただし、イについては、注7に規定する加算を算定する場合は算定しない。

3. 電子的診療情報評価量の新設

(新) 電子的診療情報評価料 30点

[算定要件]

保険医療機関が、別の保険医療機関から診療情報提供書の提供を受けた患者について、過去の主要な診療記録を電子的方法により閲覧でき、当該診療記録を診療に活用した場合に算定する。

[2及び3に係る施設基準]

(1) 他の保険医療機関等と連携し、患者の医療情報に関する電子的な送受信が可能なネットワークを構築していること。

(2) 別の保険医療機関と標準的な方法により安全に情報の共有を行う体制が具備されていること。



【お問合せ先】

沖縄県医師会業務2課 (知念・徳村・平良)

おきなわ津梁ネットワーク事務局


TEL : 098-888-0087 / FAX : 098-888-0089

E-mail : okinawa-shinryo@okinawa.med.or.jp

おきなわ津梁ネットワークの活用(例)


〔特定健診結果の活用〕

初診患者さん
同意説明




①問診票記入後、津梁ネットワークの趣旨を説明し参加同意取得

津梁ネット登録
健診受診を確認




②自院の患者としてシステムに登録
③健診受診の有無について確認

健診結果参照



④健診結果を直接端末より参照もしくは紙出力し、診察前に医師へ提供

要医療者への介入
健診受診勧奨



⑤健診結果より、その場で適切な治療開始
※重症化予防!
⑥健診未受診の場合、健診受診勧奨
※健診受診率向上!

〔救急外来診療時の活用〕

救急外来受付時
津梁ネット登録



①利用者カードの提示
②自院の患者としてシステムに登録
(初回のみ)

フェイスシート
紙出力



③フェイスシート(医療基本情報)を紙出力し、診察前に医師へ提供

アレルギー情報



救急診療の充実



〔調剤薬局での活用〕

受付時
津梁ネット登録



①利用者カードの提示
②自局の患者としてシステムに登録
(初回のみ)

健診結果・他薬局
調剤情報参照



端末参照 or 紙出力

健診結果を基にした
服薬指導・健康相談



他薬局調剤情報を
基にした適正処方



〔整形外科での活用〕

白衣
高血圧？
仮面
高血圧？

リハビリ前の
血圧測定

健診結果参照
端末 or 紙出力

〔健診結果：血圧〕
H25: 170/110
H26: 165/108
H27: 166/102

特定健診
結果

リハビリ可否判定
(参考資料)

リハビリ中止基準
収縮期: 70以下、200以上
拡張期: 120以上

可否判定

〔眼科での活用〕

眼底・眼圧検査

視神経
乳頭所見
眼圧
所見

健診結果参照
端末 or 紙出力

〔健診結果：血糖〕
H25: 7.0%
H26: 7.4%
H27: 7.7%

特定健診
結果

精密検査・
専門医との連携

精密検査

連携

〔産婦人科での活用〕

妊婦健診

妊娠
中毒症？

医療基本情報参照
端末 or 紙出力

〔フェイスシート〕
健診検査より
・体重の変化
・血圧の変化
処方調剤より
・服薬状況
アレルギーより
・禁忌薬等

アレルギー情報

フェイスシート

検査・
健診・
処方・調剤

状態に応じた
適切なケア





システム利用に必要なもの

1.インターネット回線 ※利用者負担

- 既存回線が利用可能
- 光ネクスト、光プレミアム、Bフレッツ、フレッツADSL、YahooBB、ケーブルTV等

2.インターネットに接続可能なPC又はiPad ※利用者負担

- 既存端末が利用可能（但しスペック制限あり）
- Windows (Vista,7,8) ※Windows 10 はH28.4月以降対応予定
- iOS (6.0以降)、Macintosh (X10.7以下) ※Macは現在調査中



3.ウイルス対策ソフトの導入 ※利用者負担

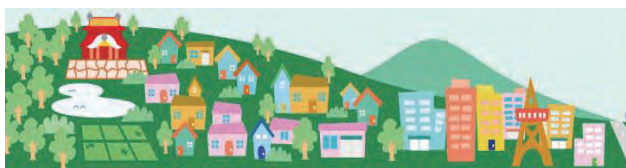
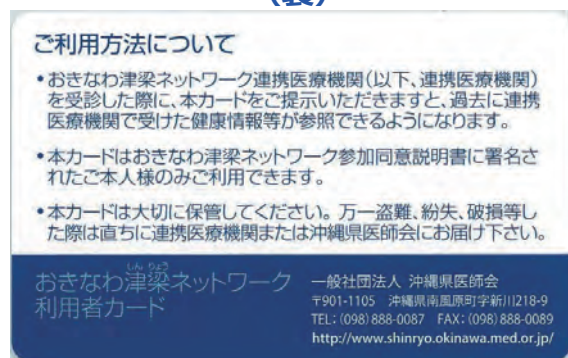
- 安全なものであればソフトの種類は問いません。

4.VPNソフトの導入 ※沖縄県医師会より配布

5.利用料金（月額）

病院（15,000円）
 診療所・歯科診療所・調剤薬局（5,000円）
 介護サービス事業所等（2,000円）

利用者カード原寸大



【お問合せ先】
 沖縄県医師会業務 2 課（知念・徳村・平良）
 おきなわ津梁ネットワーク事務局
 TEL：098-888-0087 / FAX：098-888-0089
 E-mail：okinawa-shinryo@okinawa.med.or.jp

沖縄県ドクターバンクからのお知らせ

常勤・非常勤での勤務先を探している、ベテランの技を活かしスポット勤務で働きたいとお考えの先生方、または産業医として勤務できる事業所をお探しの皆様！沖縄県ドクターバンクに登録してみませんか？当バンクでは多くの求人情報の中から、皆様のご希望に合う医療機関をご紹介します。

☆下記の登録票に必要事項をご記入の上、沖縄県医師会事務局 業務1課まで、FAXにてお申し込みください。

FAX 番号:098-888-0089

沖縄県ドクターバンク登録票 (医師用)

*項目は必須

受付登録日： 年 月 日 受付番号：

ふりがな *氏名	-----		*生年月日	(西暦) 年 月 日生	
*住所	〒 -				
*連絡先	電話(自宅または携帯)：				
	E-mail：				
*医籍登録日	年 月 日登録	保険医登録番号	医 号		
*医籍番号	第 号	*専門診療科			
資格	専門医資格	その他の資格			
*現在の状況	①就業中 ②休職中(産休・育休・病休) ③離職中 ④その他：				
現在の勤務先					
希望条件	就業形態	①常勤 ②非常勤(頻度 回/月程度) ③その他：			
	希望診療科				
	施設種別	①病院 ②診療所 ③その他：			
	希望地域	第1希望： <input type="checkbox"/> 那覇 <input type="checkbox"/> 南部 <input type="checkbox"/> 中部 <input type="checkbox"/> 北部 <input type="checkbox"/> 離島			
		第2希望： <input type="checkbox"/> 那覇 <input type="checkbox"/> 南部 <input type="checkbox"/> 中部 <input type="checkbox"/> 北部 <input type="checkbox"/> 離島			
	勤務希望時期	①今すぐ ②平成 年 月頃から ③未定			
	勤務時間	勤務可能な曜日	月・火・水・木・金・土・日		
		勤務可能な時間帯	時 分 ~ 時 分		
	当直勤務	①できる ②できない			
	希望業務内容	①病棟 ②外来 ③健診 ④パート ⑤臨時 ⑥産業医			
	給与	常勤務の場合	月給：	以上	
		非常勤の場合	日給：	以上	月給： 以上
		臨時の場合	時給：	以上	
保育所	①必要 ②必要なし				
再就業のための再研修	①必要 ②必要なし				
その他希望					

*氏名、住所等の個人が特定される情報につきましては、個人情報保護関連法令に則り開示・公表また無断流用は一切いたしません。

《提出・問合せ先》
〒901-1105 南風原町字新川218-9
沖縄県医師会事務局
業務1課 ドクターバンク担当
TEL.098-888-0087 / FAX.098-888-0089

生涯教育／プライマリ・ケア

平成 29 年 7 月 1 日

○字数制限

生涯教育 6,000 字以内とし、冒頭に 400 字程度の要旨をつけて下さい。

プライマリ・ケア 2,500 字以内

(図表 1 枚を 400 文字数に換算する必要がある)

○内容

生涯教育は、原則学術・実地医家にとって有用性の高い総説論文

プライマリ・ケアは、病診連携、病病連携等に資していただけるような、日常的な症状に関するミニレクチャー的な内容。

○原稿の書き方

①原稿はできるだけ Word、Excel、PowerPoint にて作成して下さい。

②原則として常用漢字、現代かな使い、算用数字を使用して下さい。

③図、表、写真の挿入場所を文中に指定して下さい。

④図表にはタイトルをつけてください。

⑤写真、図、表は原則として 10 枚以内とし、そのまま製版出来る鮮明なもので、特に写真は明瞭なものでご提出下さい。

⑥人を対象とした研究については、ヘルシンキ宣言を遵守したものであること、また症例を提示する際（症例報告）は、患者さんのプライバシーの保護やインフォームドコンセントなどに関する倫理的な問題に十分配慮されていること。

個人が特定され得る疾病に関しては、本人の同意を得ようご配慮下さい。

○文献

引用文献は最小限度（原則として 10 以内）とし、論文中にでてくる順に番号をつけ、末尾に以下の形式で一括して下さい。本文中には、引用部の右肩に 1) 2) 3) …の番号を付して下さい。引用の図表は出典を明記して下さい。

著者は複数の場合は筆頭者、他で記入下さい。

引用文献の記載項目並びに順序

○雑誌の場合

著者名：論文題名. 雑誌名 発行年；巻：ページ.

Ahonkhai VL, et al : Failure of pneumococcal vaccine in children with sickle-cell disease. N Engl J Med 1979 ; 301 : 26-27.

○単行本の場合

著者名：書名. (版数), 発行所, 発行所の所在地, 発行年；引用ページ.

Koch FC, et al : Practical Methods in Biochemistry. 2nd ed, William Willkins, Baltimore, 1948 ; 212 (or 212-215) .

○シリーズなど

執筆者名：執筆部分題名. 編者名, シリーズ名, 巻数, 発行所, 発行地, 発行年；引用ページ.

Kovec A : The liver and spleen. ed Bolinger RE, In Guide to Diagnostic Imaging, vol 1, Medical Examination Publishing Co Inc, New York, 1982 ; 123-140.

○ウェブサイトの場合

執筆者名 (編者名)：サイト名. URL (最終閲覧日)

運動器の 10 年・日本協会：学校での運動器検診の手引き. http://www.bjd-jp.org/medicalexamination/guide_0.html (2016 年 8 月 16 日閲覧)

月間 (週間) 行事お知らせ

○字数制限：2,000 字以内

○内 容：医療関係の行事等について

発言席

○字数制限：2,500 字以内

○内 容：会員の先生方のご意見や主張等

勤務医 / 臨床研修医

○字数制限：勤務医 2,000 字以内、臨床研修医 1,500 字以内

○内 容：勤務医・臨床医の先生方からのご意見・ご要望

地区医師会

- 字数制限：1,000 字以内
- 内 容：各地区医師会の活動状況
(例：テレビ番組やラジオ番組の放映、かかりつけ医推進事業等の厚労省モデル事業や独自の院内活動等)

若 手

- 字数制限：1,500 字以内
- 内 容：今後の進路を決める先生方へのアドバイス等について（若手医師への提言、日常診療のコツ、開業顛末記等）

随筆 / 新春干支随筆 / 緑陰随筆

- 字数制限：随筆 2,500 字以内、新春干支随筆・緑陰随筆 1,500 字以内
- 内 容：日常診療のエピソード、青春の思い出、一枚の写真、趣味などの他、紀行文、特技書評、新年の抱負など

本の紹介

- 字数制限：1,500 字以内
- 内 容：感動した、生き方が変わった、診療が変わった、新たに真実を知った本等々、会員の皆様の座右の本の紹介

いきいきグループ紹介

- 字数制限：1,000 字以内
- 内 容：各研究会、スポーツ同好会や摸合等の活動紹介

身近な闘病記

- 字数制限：2,000 字以内
- 内 容：ご自身又はご家族の病気療養の経験談について

追悼文

- 字数制限：1,500 字以内
- 内 容：お亡くなりになられた先生への追悼

広 告

- 沖縄県医師会報の品位、及び体制を損なわぬものとし、採否については広報委員会で審議のうえ決定する。

投稿の方法

1. 会報への投稿の第一執筆者は、原則として沖縄県医師会会員であること。
2. 原稿には題名、氏名、勤務先(所属)を明記して下さい。
3. 図・表・写真は原則モノクロ掲載とし、カラーの場合は実費をご負担願います。
4. 送付方法は出来ましたらメール送信又はCD-R等での送付をお願いします。
5. 同一会員の原稿掲載回数は、1期(4～7月号)、2期(8～11月号)、3期(12～3月号)の各期ごとに1編のみ。
6. 写真の解像度は350以上をお願いします。表紙写真に関しては、会員本人撮影のものとする。
7. 掲載の採否は広報委員会で決定し、内容によっては原稿の修正等をお願いする事があります。

著作権

本誌並びにホームページに掲載される著作物の著作権は沖縄県医師会に帰属します。

送付先・問い合わせ先

沖縄県医師会 庶務課
〒901-1105 南風原町新川 218-9
TEL：098-888-0087 FAX：098-888-0089
E-mail：kaihou@ml.okinawa.med.or.jp

今年の夏は災害が相次ぎました。九州北部豪雨被害、そして秋田の大雨と続きました。また、大垣花火大会で花火が地上付近で爆発する事故が起きました。幸いにも傷病者は発生していないとのことですが、一つまちがえば集団災害になるところでした。また、猛暑となり各地で災害かと思う程に多くの熱中症も発生しました。今月号では災害に関する話題として mass gathering medicine と大規模災害時における検視要領訓練が掲載されています。

表紙は長嶺先生のチョモランマです。神々しく何者も足下にすら及ばせないような姿は、その向うに世界があることを想像することすら許さないほどの偉大さです。ドラムサラに亡命された方々と中国自治区に残られたチベットの方々の目にはどのように写るのでしょうか。

報告は7題です。はじめに第7回ワークショップ「会員の倫理資質向上を目指して」では日本医師会館で開催された講演とケーススタディが報告されています。医学教育はもとより、生涯にわたり取り組むべき問題です。次に、第140回日本医師会定例代議員会では、「地域包括ケアと医療構想」「専門医制度」「医の倫理」「医師養成」「働き方改革」「受動喫煙」「診療報酬改訂について」が取り上げられています。九州医師会連合会第363回常任委員会では、核戦争防止国際医師会議（IPPNW）の支部が九州各県にも設置されることが報告されています。九州ブロック日医代議員連絡会議では横倉会長が中央情勢報告をされ、日医地域医療対策委員会から将来の医療態勢に向けて、①第7次医療計画、②在宅医療、③公的医療機関、④地域医療連携推進法人についての報告です。さて、第123回沖縄県医師会医学会総会ですが、いつもミニレクチャーはUp Dateなテーマです。今回は「認知症と運転」でした。来年の県民健康フォーラムもこのテーマで開催予定です。次に大規模災害時における検視要領訓練です。久しぶりに開催されました。第210回沖縄県医師会定例代議員会では県医師会の取り組みが述べ

られた後、外国人観光客への医療、未収金の問題が質疑されています。

生涯教育は仲地先生による最新の成人鼠径部ヘルニア診療です。腹腔鏡手術の時代になり治療法も一変しました。

プライマリ・ケアは佐々木先生によるスポーツイベントにおける救護態勢についてです。mass gathering medicine の基本的な考え方は全てのイベントに共通します。ぜひ参考にして頂きたいと思います。

インタビューコーナーは琉球大学小児科に就任された中西教授です。「ゆいまーる」で医師会とも宜しくお願い致します。

月間行事では、9/9は八木先生から病院前救急診療について解説して頂きました。非常に大切なことです。結核予防週間では、比嘉先生からIGRAを過信してはいけないとのこと、どちらも是非ご精読ください。

寄稿には、長嶺先生が自ら通われて得られたチベット高地における血中酸素飽和度について貴重な知見を寄稿して頂きました。

随筆は3編です。喜久村先生から老年医学の話題です。長高齢社会で重要な話題です。比嘉先生は三極と猿に出会われたとのこと、言葉でしか知らなかったものに偶然出会うことの素晴らしさが伝わってきます。仲原先生はハウステンボス・雲仙旅行記です。普賢岳火砕流の災害遺構が保存されているのには驚きました。東盛先生は随筆の中で医者ビジネスマナーについて触れられています。思わず頷いてしまいました。

災害となるか幸いとなるのか、8月3日に第3次安倍第3次改造内閣が発足しました。首相により仕事人内閣と名付けられましたが、仕事人といえば中村主水を藤田まことが演じた必殺シリーズでしょう。加計学園問題や自衛隊日報問題も闇に葬り去られるのでしょうか。まだまだ暑い日が続きますが、ご自愛下さい。

広報委員 出口 宝